

みずほCustomer Desk Report 2022/11/25 号 (As of 2022/11/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	139.28
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	139.25	1.0419	145.09	1.2061	0.6747
SYD-NY High	139.60	1.0447	145.20	1.2153	0.6777
SYD-NY Low	138.05	1.0382	143.68	1.2049	0.6727
NY 5:00 PM	138.65	1.0411	144.27	1.2115	0.6765
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	-	-	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	28,383.09	267.35	米国5年債	-	-
TOPIX	2,018.80	24.05	米国10年債	-	-
シゴ日経先物	-	-	独10年債	1.8445%	▲0.0745%
ロンドンFT	7,466.60	1.36	英10年債	3.0330%	0.0275%
DAX	14,539.56	111.97	豪10年債	3.5590%	▲0.0530%
ハンセン指数	17,660.90	137.09	USDJPY 1M Vol	13.91%	0.22%
上海総合	3,089.31	▲ 7.60	USDJPY 3M Vol	12.62%	0.48%
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	11.81%	0.26%
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	▲0.90%	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	11.67%	0.31%
ドルインデックス	106.08	0.00	EURJPY 6M Vol	11.50%	0.18%

東京	東京時間のドル円は139.25レベルでオープン。オープン直後には東京時間高値である139.49を付ける。しかしその後は、前日23日に発表されたFOMC議事要旨にて利上げペース減速が近く適切になると記されたことを受けたドル売りの流れが継続。米国休日で閑散となる中でも、ドル円は一時138.62を付けるなど軟調に推移。結局138.97レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、138.97レベルでオープン。ドル休日の中、FOMC議事要旨をうけたドル売り基調が継続。朝方139.20まで上昇する場面もあったがボート主導でドルが売られるとドル円も下落に転じる。一時138.05円まで売られ、138.26レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	休場

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 甲斐・木村

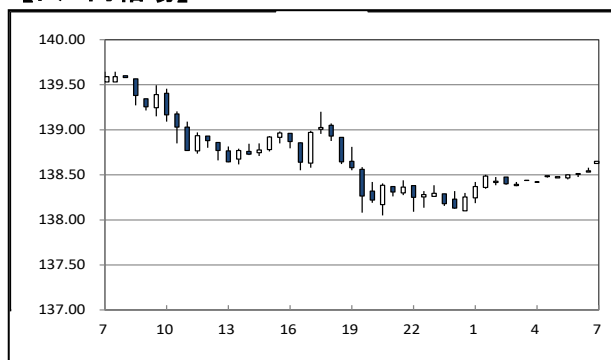
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月24日	18:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	11月 86.3/93.1/80.0	85/93.9/77.0
	21:30	欧 ECB議事要旨	数人が50bp利上げに留めることを主張	

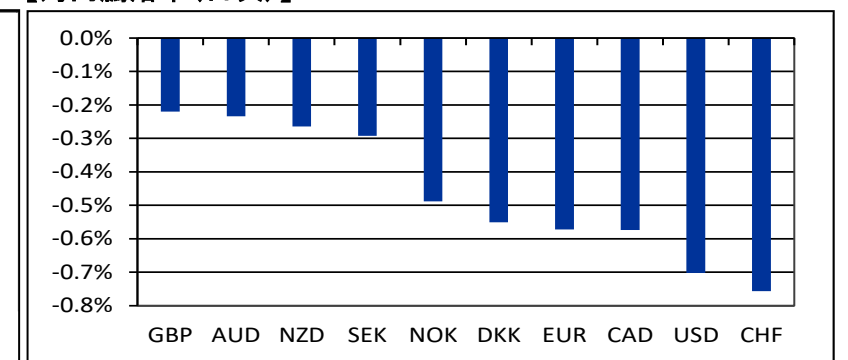
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月25日	16:00	独 GDP(前期比)・確報	3Q F 0.3%	0.3%
	23:15	伊 ビスコ・イタリア中銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.00-140.00	1.0350-1.0450	143.50-145.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は139円を割り込み上値の重い展開が継続。水曜日に公表されたFOMCの議事要旨にて、参加者の大部分は利上げペースの減速が適切となる可能性が高いと判断していたことを受けてのドル売りの流れが継続した。138前半まで下落し、米感謝祭休日の中、値動きが乏しい中でやや水準を戻し138.65でクローズした。本日のドル円は、底堅い展開を予想する。本日は五十日ということもあり、東京時間は支えられやすい展開が予想される。今後の米利上げペースへの警戒感には依然として残るものの、利上げペースの一段の減速を織り込むような材料はまだ顕在化しているとはいえず、ある程度底堅さが意識される水準か。今後の米雇用統計や米CPIが確認されるまでは、局所的にボラタイルな動きを見せる可能性には注意が必要と考える。